

リニューアル後の /
読者の声

文字と写真、挿し絵の
バランスが良い。

文字の大きさもちょうど良く、
インデックスや記事の種類に
よってタイトルが色分けして
あるのも分かりやすいです。

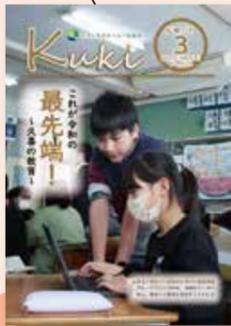
裏表紙のほうは大切な情報を
一番最初に確認できるところが
良いです。

特集記事は、良く考えられて、
毎回楽しみにしています。

文章が簡潔で読みやすいです。

カラーで明るく
読む気になります。

令和6年3月号 (No.276)
これが令和の最先端！
～久喜の教育～



令和7年9月号 (No.294)
みんなでつくろう！
ゼロカーボンシティ



時代とともに少しずつ形を変えながら作り上げてきた広報くき。しかし、作成への情熱は創刊当時から変わりません。全ては、市の情報を皆さんに分かりやすく届けるため。表紙にもある「市民と市政をつなぐ情報紙」として、これからも「伝える広報」をモットーに、旬な情報をたくさん用意して発行を続けていきます。

**市民と市政をつなぐ
情報紙として**

事として毎回さまざまなジャンルの記事を掲載するなど、皆さんの関心を引くための工夫を常に凝らしてきました。また、根強い人気コンテンツである久喜歴史日より、ご寄付を紹介する愛の泉など、現在まで受け継がれているコーナーもあります。表紙やこのページでは、歴代の広報くきをご紹介。皆さんの印象に残っている号はありますか？

全国広報コンクール 読売新聞社賞 受賞

- 評価された点
- ・表紙はこうでなくてはいけないというお手本
 - ・話の展開が巧み
 - ・1ページの情報量を抑えるなど、メッセージが伝わりやすくなる工夫がされている



令和3年12月号 (No.249)
めざせ！食品ロスゼロ



令和3年8月号 (No.245)
学校給食センター稼働スタート



令和4年1月号 (No.250)
南栗橋から始まる新しい街のカタチ
(BRIDGE LIFE Platform構想)



令和5年9月号 (No.270)
ぼうさいクエスト (防災特集)



広報くきの歴史

創刊当時の広報くきは、月2回発行（毎月15日はお知らせ版）、色も赤黒の2色印刷でした。時世をたえながら、その時々旬な情報を皆さんにお伝えしてきました。令和元年のリニューアル後は月1回発行となり、全面カラー化で見やすさが大幅アップ！さらに、特集記

**市民に支えられ
迎えた300号**

広報くきは、平成22年の久喜市合併直後に創刊し、今月で300号を迎えました。毎月欠かさず発行し続け、この記念すべき節目を迎えられたのは、市民の皆さんの支えがあったからにほかなりません。いつも広報くきを愛読していただき、ありがとうございます。

創刊号 平成22年4月1日号



令和元年5月号 (No.218)
地域を支える「子育て＝親育て」



広報くき
リニューアル

平成24年5月1日号 (No.51)
市の花、木、歌決定



平成27年12月号 (No.137)
圏央道 (桶川北本IC～白岡菖蒲IC) 開通



令和2年10月号 (No.235)
未来につなぐ緑と想い
—現代に受け継がれる本多静六博士の心—



この月は国際交流の特集に絡めて、地球のイラストでグローバルらしさを表現しました。



知ってた!?

表紙の字が毎月変わってる!?

表紙のKukiの文字、よく見ると毎月「i」の字を変えているんです。特集に関連したものにしたり、季節にあったものにした。広報担当者のちょっとしたアンビゴコロにも注目です。



広報くき300号特集

これまでも これからも

伝わる広報を